

さいせい

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも

第30号 (H24年9月)

済生会みすみ病院
健康と福祉の情報誌

発行者：藤岡 正導

● 済生会みすみ病院の理念と方針 ●

理念：医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

方針：『地域医療を支援します』『救急医療を実践します』『健康的な生活を支援します』



平成24年7月21日(土)みすみ港祭り参加総勢83名

目次	● 認定介護師紹介	2
	● リハビリ室だより	4
	● 64列CT装置を導入します!!	6
	● 病院だより	10
	● 健康フェスタ2012開催のお知らせ	11
	● 外来一覧表	12
	● 院外HPリニューアル	12



認定看護師の紹介



済生会みすみ病院には現在2名の認定看護師が勤務しています。認定看護師とは、日本看護協会認定看護師認定試験に合格した、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる人材で、実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上に貢献しています。

認定看護師の種類は下記の21種類

- 救急看護
- 集中ケア
- がん化学療法看護
- 訪問看護
- 糖尿病看護
- 新生児集中ケア
- 手術看護
- 摂食・嚥下障害看護
- 認知症看護
- がん放射線療法看護
- 慢性心不全看護
- 皮膚・排泄ケア
- 緩和ケア
- がん性疼痛看護
- 感染管理
- 不妊症看護
- 透析看護
- 乳がん看護
- 小児救急看護
- 脳卒中リハビリテーション看護
- 慢性呼吸器疾患看護

当院には

緩和ケア認定看護師・脳卒中リハビリテーション看護師が各1名勤務しており、他の種類の認定のため、現在も職員を長期研修に派遣しています。

1・2病棟 緩和ケア認定看護師

松下 美佐子



私は、がん患者が診断を受けてから治療を行い、終末期までの看護を行う中で、様々な苦痛を抱える患者さんやご家族に対してどのように向き合えばよいのかと悩むことが多くありました。そこで、根拠のあるがん看護を学び、患者さんやご家族に寄り添い、少しでも苦痛をやわらげ、支えていきたいと考え、緩和ケア認定看護師を目指しました。これまでの緩和ケアは、治療を望むことができなくなった患者さんに行われるものでした。しかし、現在の緩和ケアは診断後早期から適応され、治療と並行して行われ、病

状の進行に伴い、徐々に緩和ケアの占める割合が増えてきます。がんと闘う時も、治療を望めなくなっても緩和ケアは必要となります。これから、一般病棟において、症状の緩和を図るだけでなく、患者さんおよびご家族の思いを理解し、揺れる気持ちに寄り添いながら共に方向性を見いだせる関わりを目指していきたいと思えます。また、緩和ケアチームの一員として協同し、患者さんやご家族の希望をささえ、患者さんが最期まで自分らしく過ごすことができるような看護を目指し努力していきたいと思えます。

1・2病棟 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

松田 久慧



脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師として

みなさん、脳卒中という言葉葉を一度は耳にされたことがあると思います。現在、脳卒中は死亡原因の第3位ですが、要介護状態や寝たきりの原因は第1位の疾患です。さらに、脳卒中は、突然発症し手足の麻痺や話しづらさなどの後遺症により、これまでの生活様式に大きく影響することがあります。その為、急性期の治療が終了した後も治療やリハビリを継続し、これまでの生活を見直していく必要があります。みすみ病院は、回復期病棟も有するため、急性期の治療を

終えても、病院を変わることなく、治療や看護・リハビリを継続することができるのが利点です。私は、みすみ病院で初めての脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として、脳卒中中で治療やリハビリを余儀なくされた患者さんを含めたご家族の方の生活の質を向上させるために、あらゆる支援をさせていただきたいと考えています。何か、少しでもお困りのことがあれば、気軽に声をかけてくださると嬉しく思います。

リハビリ室だより

リハビリテーション室 理学療法士 上村 龍輝

急性期リハビリテーションの実践

脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの外傷で入院となった場合、多くは入院または手術の翌日から医師の指示のもとにリハビリテーション（以下リハビリ）が開始されます。発症してすぐの急性期からリハビリを開始する、いわゆる「早期リハビリ」を実践しています。その内容は疾患によりますが、関節可動域運動や筋力維持・向上な

どの機能訓練のみならず、座位や立位・歩行能力の向上、日常生活動作能力の向上、摂食・嚥下や呼吸機能改善などが取り組まれます。

早期リハビリにあたって最も重要なのがリスク管理です。疾患の急性期では、病状が変化したり点滴加療中であつたりと、必ずしも全身状態が安定しているとは限りませんが、わかれわれは医師や看護師らと情報交換をしっかりと行い、自覚症状や血圧などのバイタルサインを確認

しながらリハビリを開始します。

早期リハビリテーションの重要性

では、なぜ「早期リハビリ」が必要なのでしょう？皆さん、「廃用症候群」という言葉をご存じでしょうか。廃用症候群とは、例えば、入院中に長時間寝たまましていると、

- ①筋力が低下する
- ②関節が硬くなる
- ③床ずれが生じる
- ④呼吸・循環といった心肺機能が低下する

⑤代謝が悪くなる（便が出にくくなるなど）

⑥認知症になりやすいなどのことを言います。

疾患の急性期では、安静や治療などの理由によりどうしてもベッドの上での生活を余儀なくされることがあります。食事や更衣、排泄や入浴（清潔）といったいわゆる日常生活動作をすべてベッド上で行うことになるわけです。しかし、これが廃用症候群を招く一因になります。われわれは、

病状が許す限り、できるだけ早期にベッドから

離れ、排泄はトイレで、整容は洗面所で、といった風に本来の生活の場で日常生活が行えるように支援していきます。

これらにより、廃用症候群の進行を予防すると同時に身体機能や精神機能の回復を図り、早期の自宅退院や社会復帰につなげたいと考えています。

早期リハビリによって、廃用症候群の進行

回復期リハビリテーションへつなぐ

を最小限にとどめ、次のステップである回復

期リハビリにつなげます。回復期リハビリ棟とは平成12年度に日常生活の向上による寝

たきりの防止と家庭復帰を目的としてつくられた病棟です。当院の回復期リハビリは三六五身体制を開始しており、より充実したリハビリを受けることが出来ます。

当院のリハビリテーション室は基本方針として、

①早期リハビリテーションを実践する

②回復期リハビリテーションを実践する

③在宅復帰を支援する

④地域生活における予防および生活期リハビリテーションを実践する。

を掲げています。早期のリハビリを実践し、回復期リハビリにつなげ、スムーズな自宅復帰が果たせるように、そして、地域住民の方々が生き活きと生活できる環境づくりに貢献していきたいと考えています。

高性能!
短時間で患者さんに優しい検査!
64列CT装置を
導入します!



この度、みすみ病院では最新鋭の64列CT装置を導入します。

このCT装置は従来のCT装置と比べて撮影スピードが非常に速く、撮影部位によっては今までは20~30秒程度の息どめが必要であった検査が、5~10秒程度の息どめで行うことが可能となり、患者さんの負担を軽減し、楽に検査を受けて頂けます。さらに今までのCT装置では難しい検査であった心臓に血液を送っている主要な血管、冠動脈の検査もこの最新のCT装置ではより詳しく、簡単に検査を行うことができる装置です。

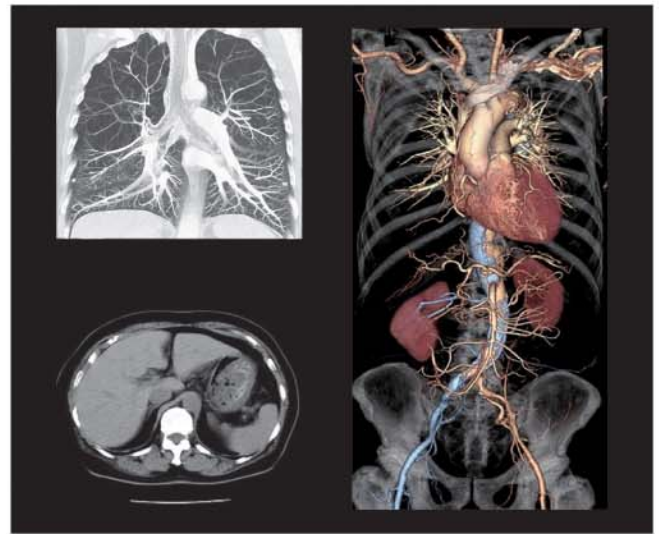
◆CT検査とは?

CT検査とはコンピュータ断層撮影(Computed Tomography)のことで、X線(放射線)により体を輪切りにした断面の画像を撮影することができる検査です。

CT検査は、患者さんが寝台に横になって、トンネルのような穴の開いた装置の穴の部分に体が自動的に通っていきながら撮影します。

X線が人体に様々な角度から照射されて体の中を通過したときに、どれくらいそのX線が減ったかを測定することで体の断面を画像化します。とても鮮明に撮影することができるので、小さな病変なども見つけることができます。CT検査による痛みなどはなく、体の全ての部分を撮影することができるので、様々な体の異常や病気に対して行われる検査です。

当院に導入されたCT装置(64列)では、以前の機種(8列)に比べて画像を撮るシャッタースピードや読み取り機能もかなり改善され、短い検査時間でよりたくさんの画像データをとることができるようになります。



◆特徴1 被ばくを大幅に低減

2011年3月の東日本大震災から1年以上がたちますが、現在でも原子力発電所の事故による放射線の不安やストレスが継続しています。患者さんの中には、放射線(X線)を使って検査するCT検査に対して不安を持たれている方もいらっしゃると思いますが、CT検査での被ばく量はごくわずかなもので、身体への影響はほとんどないとされています。

さらに今回導入されたCTは、体格に合わせてX線量を調節する技術や、最新の

画像処理方法を用いることで、これまでの装置よりも非常に少ない被ばく量で画像を得られます。従来のCT装置と比較して、体格や検査部位により多少の違いはありますが、約50%~70%程度の被ばく量となっています。比較的被ばくの多い心臓CTにおいても、心臓が止まってみえるわずかな時間のみX線を照射する技術によって、大幅な被ばく低減が可能となります。

◆特徴2 短時間・わずかな息止めで全身撮影

1回転で64断面を同時に撮影できるため、従来の1回転で8断面ずつ撮影していた装置と比べても、より高速での撮影が可能です。胸部や腹部をCT撮影する際に、従来では長時間の息止めが必要でしたが、新しいCTでは、わずかな時間息を

止めていただくだけで撮影でき、広範囲の撮影でも薄く鮮明な断面が得られるため、より小さな病変の描出も可能となります。ご高齢な方や胸の病気で長時間の息止めが困難な方でも、楽に検査を受けて頂けます。

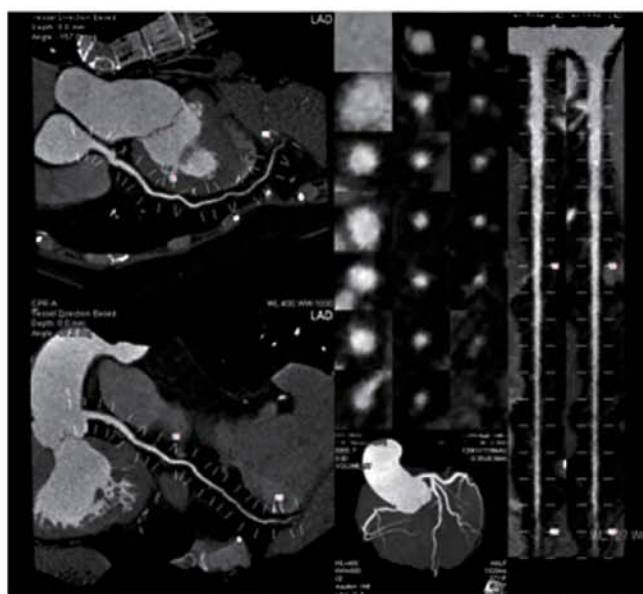
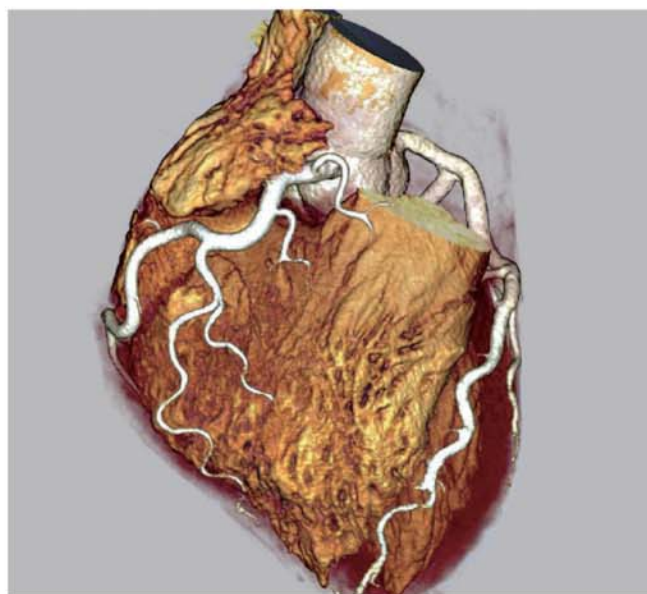
◆特徴3 コンピュータの処理速度が格段に向上

撮影後、即座に画像が表示されるので、より迅速な診断が可能です。患部の詳細な観察に用いる立体像や任意の断面も短時間に作成できるため、検査後の待ち時間が短くなります。

◆特徴4 心臓への適応(冠動脈CT)が可能

心臓を取り巻く冠動脈は、心臓の筋肉に酸素や栄養を与える重要な血管です。これが動脈硬化により細くなったり詰まったりすることで、狭心症や心筋梗塞が起こります。この冠動脈の検査は市内

の大きな病院に入院してカテーテルという管を血管に入れて行う方法が現在でも主流です。しかし、64列CTにより当院外来でも容易に、冠動脈の検査ができるようになります。



64列CT装置を導入します!!

	心臓 カテーテル検査	従来の マルチスライスCT	当院の 64列マルチスライスCT
動脈損傷、脳梗塞等の 合併症の危険性・ 検査に伴う出血の 危険性	あり	なし	なし
造影剤アレルギーの 危険性	あり	あり	あり
検査時間	30分	1分以内(息止め時間)	5~7秒(息止め時間)
入院の必要性	あり	なし	なし
外来での検査	通常不可能	可能	可能
検査後の当日運転	不可能	可能	可能
費用	5~10万円	9千~1万円	9千~1万円
検査の信頼性	高度	中等度	高度
不整脈・心筋症による 検査の限界	なし	あり	なし

最後に私たち放射線検査室では、今後とも検査および診断能力を高めて、皆様方により早くて、きれいなCT画像と安心できる医療を提供できるようにさらに努

力していきたいと思えます。
なお、地域の医療機関からのご依頼やご紹介での検査も承っておりますので、よろしくご依頼申し上げます。

患者さんの負担を少なく 優しい検査を目指しています

低被ばく

放射線被ばくを
大幅に低減
できます

広範囲

わずかな息止めで
全身撮影できます

高分解能

小さな病変まで
みつけることが
できます

院内感染対策研修会を行いました

院内感染対策委員会



6月14日(木)に、全職員で感染対策についての研修会を開催しました。当院医師の宮川医長より「嘔吐下痢について」の講義後、吐いた物(小麦粉を溶

いたもの)の処理を実践してもらいました。実技中はビデオカメラで撮影し、ライブで会場のスクリーンに映すことで、参加者全員がわかりやすいよう工夫もしました。実技後に解説をおこない、看護師だけでなく、他職種のスタッフにもわかりやすい内容で、充実した研修となりました。

みすみ港祭り

リハビリテーション室 平ノ上隆康



今年度5月に入職しました、STの平ノ上隆康です。7月21日、みなと祭りに参加しました。踊りもなんとか覚え、当日は、くまモンに扮し参加

しました。全身タイツで、腹には座布団を入れました。沿道の子どもに笑われ、泣かれ、「にせもん、くまもん」と揶揄されながらでしたが、楽しんで参加できました。くまもんに扮したおかげか、日頃話したことの無い職員の方とも交流が図れ、有意義な祭りとなりました。

済生会みすみ病院

健康フェスタ2012

開催のお知らせ

毎年恒例になりました「みすみ病院 健康フェスタ」ですが、今年も健康づくりの推進と、地域への感謝の気持ちをこめて開催します。屋外のメインステージでは、大矢野町在住RKK放送アナウンサーの木村和也さんの総合司会のもと、地域の皆さんの協力を得てのステージや当院医師による講演会やお楽しみ抽選会があり、その横では三角町商工会、ラ・ガール、吟将さんの出店や当院職員による出店も並んでいます。また、院内では、医師による講演会や看護師による健康相談、医療体験など、子どもから大人まで楽しめるイベントを多数企画しています。皆様のご来場をお待ちしております。

■日時:10月21日(日)10:00~15:00

■場所:済生会みすみ病院 敷地内
(宇城市三角町波多775-1)

入場
無料

■イベント内容(予定)

屋外:(出演)総合司会 木村和也(RKKアナウンサー)、わかき保育園、
みすみ保育園、笑福亭鶴笑(落語)、講演会(院長他医師) 他
(その他)お楽しみ抽選会、医療体験コーナー、ストラックアウト、
地元青年部・婦人部、吟将、ラ・ガール、
済生会福祉センター、撫子会
(綿菓子、唐揚げ、焼きそば、カレー、手作り雑貨、バザー 他)

院内:健康・お薬相談、プチ健診、白衣写真撮影、CT撮影体験、
超音波エコー体験、口腔ケア指導、体力測定 他

※駐車場に限りがあります。できるだけJR・バス等の公共交通機関
をご利用下さい。

外来一覧表

	月	火	水	木	金	
診察室 1	午前	循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	呼吸器科 ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子
	午後	循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ペースメーカー外来(予約制)	循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	禁煙外来(予約制)
		ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	担当医	ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸	ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子
診察室 2	午前	呼吸器科 済生会熊本病院医師	泌尿器科 済生会熊本病院医師	内科 イソベ ヒロタカ 磯部 博隆	呼吸器科 ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子	泌尿器科 済生会熊本病院医師
	午後	禁煙外来(予約制)	腎不全外来(予約制)	腎不全外来(予約制)		
		ミヤカワ ヒサコ 宮川 比佐子	済生会熊本病院医師	済生会熊本病院医師(4週)		
診察室 3	午前	外科 タナベ ダイロウ 田辺 大朗	消化器科 フジモト タカヒサ 藤本 貴久	外科/乳腺 オオシマ シゲキ 大島 茂樹	外科 カイ ミキオ 甲斐 幹男	肝臓外来 フクバヤシ コウタロウ 福林 光太郎
	午後				消化器科 ツクムラ テツト 築村 哲人	
診察室 4	午前	整形外科 ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦	整形外科 ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦	脳神経外科 フジオカ ショウドウ 藤岡 正導	整形外科 ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦	消化器科 フジモト タカヒサ 藤本 貴久
	午後		整形外科 ニシグチ マサヒコ 西口 雅彦	脳神経外科/脳TJ(予約制)		循環器科 ショウノ ヒロユキ 庄野 弘幸
				フジオカ ショウドウ 藤岡 正導		
診察室 6	午前	消化器科 ツクムラ テツト 築村 哲人	内科 イソベ ヒロタカ 磯部 博隆	消化器科 ツクムラ テツト 築村 哲人	脳神経外科 ハマサキ キヨトシ 濱崎 清利	内科 ウツト ショウ 宇土 翔(1.4週) 内科(糖尿・予約制) ★シノ マツコ マツイ ユキト 星乃 明彦(2週)、松尾 靖人(3週)
	午後					心臓血管外科 サツサトシハル 佐々 利明

※基本的に午後は予約となります。初めての方は午前11時までにはいらして下さい。

みすみ病院のホームページが リニューアルします



※イメージです



発行日/平成 24 年 9 月

監修/庄野 弘幸

発行所/熊本県宇城市三角町波多 775-1

社会福祉法人 恩賜財団 済生会みすみ病院 広報委員会

TEL 0964-53-1656 FAX 0964-53-1657



明治 44 年創立 100 周年